

# 優れた安全性 に感動！

1992年以来エコテックス規格 100は、繊維製品の川上から川下全体にわたり安全性の国際規格となっています。

現在、世界中の繊維製品及び衣料業界に携わる6000以上の企業がエコテックスの認証を取得しています。

数百万点の繊維製品に対し4万5千枚以上の認証書を発行しているエコテックス規格100は、繊維製品が有害物質の試験を受けたことを示す著名なラベルになっています。

このエコテックスシステムによる試験に合格し認証を受けた繊維製品には、健康を損なう恐れのある濃度の有害物質が含まれていないという保証が得られます。

エコテックス規格 100の主要目的と概念に関し、良く尋ねられる16項目の質問／回答を記載してありますのでご覧ください。

全種類の文書、最新の規制値リストおよび背景に関する広範な情報については、[www.oeko-tex.com](http://www.oeko-tex.com)をご覧ください。他にも何かご質問がありましたら、各国のエコテックス国際共同体加盟研究所までお問合せください。喜んでお手伝い致します。

## 1

### エコテックス規格 100 は私達消費者 に何を与えてくれますか。



エコテックス規格100とは、世界をリードしている繊維製品分野のエコラベルです。このラベルの付いた製品は、国際的に有名な繊維研究所が試験し認証を与えていますので、人への安全性に大変優れています。このラベルが付いた繊維製品はあなたに安心感をもたらすことでしょう。

## 2

どうすれば、本物のエコテックスラベルを見分けることができますか。

このラベルを見てください。



認証番号と試験機関名が記入されていることを確認してください。

認証番号は、個々の認証過程の追跡調査に用いられます。

エコテックス ラベルはマドリッド条約により国際法で保護された登録商標です。

## 3

エコテックス国際共同体とは、何ですか。

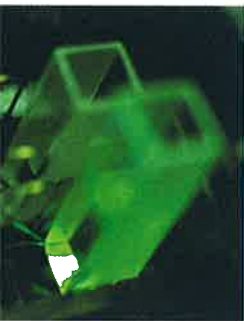
ヨーロッパと日本にある15の有名な繊維試験研究機関から成る共同体のことで、30ヶ国以上に研究所や代理店があります。エコテックス国際共同体のメンバー機関は、エコテックス規格100の継続的發展を共同して担っています。繊維関連の広範な専門技



術のみならず、化学、医学など関連した研究分野から科学的に得られたことはすべて、このエコテックス規格100の継続的な發展に反映されています。

## 4

エコテックス国際共同体の研究所が試験を行う基になっている根本方針とは、どのようなものですか。



1990年代の初めに、創立者であるオーストリアのウィーンにある繊維研究所とドイツのパーニグハイムにあるホーエンシュタイン研究所が、既存の有害物質に関する試験規制に基づいてエコテックス規格 100 の創案と規制値リストを開発しました。

この規制値リストは毎年共同体で更新され、最新の必要性に応じて改定されます。この規制値全体は現行の国家規制よりはるかに厳しい基準になっています。

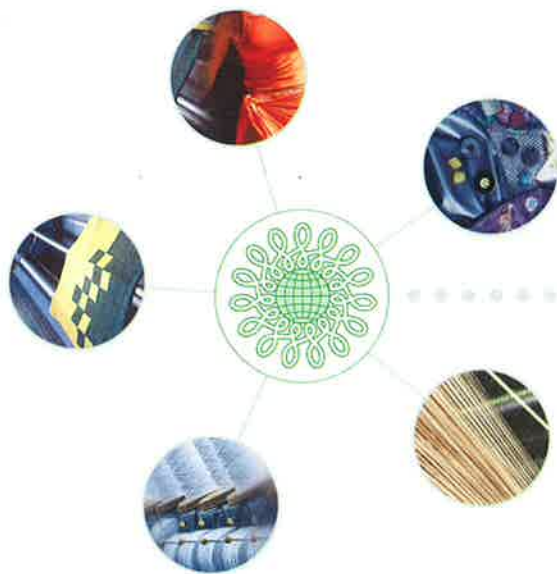
世界中のすべての研究所は、同一の厳格な試験方法と規格に従い、試験を行っています。

## 5

エコテックス規格 100の国際的な役割とは何ですか。

国が違えば法的規制や安全性の概念も異なりますので、国際的なテキスタイルチェーンの広がりの中での作業には、有害物質に関する共通の安全基準が必要です。

エコテックス規格 100の詳細な規制値リストにより、関連した世界中の企業に対し、問題を引き起こす有害物質への認識をより一層高めています。



## 6

エコテックス規格 100は、どのような部分から構成されていますか。



- 規格への適合とその履行に関する誓約書のついた申請書、及び更新用文書から成る契約。
- 規制値リスト
- サンプル試験および試験報告書
- 認証書の発行
- ラベルの使用
- 試買試験

## 7

エコテックスの規制値リストは、どのような背景を基に作成されていますか。

規制値リストには、100 以上の試験項目が含まれ、繊維製品が健康に害を与えないことを保証しています。この規制値リストは認定エコテックス研究所にとって必須のものです。

この基準や限界値はこの分野で先行しており、法的に禁止または規制された物質だけでなく、人の健康に害を与えると科学的に評価された物質をも含んでいます。また予防的な役割を果たす試験項目もあります。



# 8

## エコテックス規格 100の試験項目には、どのようなものがありますか。

エコテックス規格 100 は、有害物質の使用を禁止するか制限します。次の試験項目は、エコテックス規制値リストの一部です。:

- 特定の禁止 AZO 染料\*
- 発ガン性染料/ アレルギー誘発性染料
- ホルムアルデヒド\*
- 農薬
- 塩素系フェノール
- クロロベンゼン/クロロトルエン
- 溶出重金属
- 染色堅牢度
- pH 値
- ベビー用品中の フタレート類\*
- 有機スズ化合物 (TBT とDBT)
- 揮発性成分
- 臭気
- 抗菌剤や難燃剤は個別に規制されます。

\*ヨーロッパでは、繊維製品に関して法規制された試験項目。

# 9

## エコテックス規格 100で、製品分類の意味するところは何ですか。



製品分類 I

製品分類 II

製品分類 III

製品分類 IV

対象: 完成品、半製品および付属品

製品分類を選択する場合、繊維製品の用途に従い決められます。皮膚との接触部分が多いほど規格も厳しくなります。エコテックス規格 100では、乳幼児には特別な配慮がなされています。製品分類Iでは、乳幼児の皮膚がとて敏感であることを考慮し、ベビー用品すべてに最も厳しい基準をもうけています。付属品を含めて、ホルムアルデヒドが検出されてはいけません。染色/プリント品では乳幼児がなめても色素が流れ出ないように、唾液に対して堅牢であることも必要です。

## 10

エコテックス規格 100の認証を 取得するにはどうすれば良いのですか。

繊維製品に関連する企業は、申請書をエコテックス国際共同体加盟研究所に提出することで自社製品を認証してもらうことができます。試験は代表サンプルで行われますが、事前にエコテックス認証



を受けた原材料／半製品については試験が免除されます。試験が問題なく完了し、適合性宣言書に署名すれば、認証書が発行されます。企業はこの認証書によって、その製品が認証されている事を保証されます。

## 11

認証書の有効期間はどれ位ですか、そしてどのような費用が発生しますか。

エコテックス認証書は12ヶ月間有効です。最初に決められた認証番号は、エコテックスラベルに使用され、更新後も同じ番号がそのまま使用されます。

更新の場合も次の12ヶ月間までの申請となり、使用原材料についての再チェックが必要となります。

認証費用は、実際にかかる試験費用と登録費で、事前に見積もりができます。



# 12

エコテックス認証システムの基本的な進め方はどのようなものですか。



繊維製品の全分野と各生産段階で認証することができます。これらを構成している、ファイバー／紡績糸／布の生産者や加工業者／衣服製造業者／付属品供給者が申請可能です。半製品が認証されている場合、次の生産段階での試験費用は大幅に低減されます。これにより重複試験が避けられ、試験費用が各生産段階で分散されます。

# 13

エコテックス規格 100にはどんな管理システムがありますか。

各試験研究所は発行した全認証の内、毎年最低15%を再度チェックしています。

これらの管理にかかる費用は、認証登録費でカバーされています。

小売店での試買品や、企業から抜き打ちで入手した製品を試験します。

半製品は、生産段階での最新サンプルを試験します。



# 14

最終製品にエコテックスラベルを付けるためには、どうすれば良いですか。

その製品分類での規制値リストの必要試験項目において、全構成部材が試験／認証された場合にのみラベルが授与されます。これには表生地、パッド、詰め物、裏地はもちろん、ファスナー／ボタン／ストラ

ップ／レース飾り／縫い糸等の付属品も含まれます。



# 15

エコテックスラベルを使用するには、どうすれば良いですか。

エコテックスラベルを付けるには、企業はエコテックス規格 100に基づき、その製品の認証を持つ必要があります。構成部材の供給者から得た認証番号を使用して、完成品に表示してはなりません。

企業が認証書を有することは、特定製品がエコテックス規格 100に適合しているだけでなく、製品安全に関する品質管理システムも高く評価されているということです。





## 16

世界中で6000以上の企業がエコテックス規格 100を支持する理由は何ですか。



繊維製品/衣料業界の企業は、ファッションブルで機能性に富み、扱いやすく、また同時に人への安全性に優れている製品を生産する事に関心があるからです。

これらの企業のたゆまぬ努力により、テキスタイルチェーンの中でエコテックス認証システムは、消費者にとって優れた安全規格となっています。

**エディター**

Oeko-Tex – International Association for Research and Testing in the Field of Textile Ecology  
Gotthardstrasse 61  
Postfach 585  
CH-8027 Zurich

**コンセプト**

Jutta Knels, German Oeko-Tex Certification Centre, Eschborn

**テキスト**

Jutta Knels, German Oeko-Tex Certification Centre, Eschborn  
Helmut Müller, Hohenstein Research Institute, Bönningheim

**レイアウト**

Richtung 7 – Content und Media Services GmbH, Ludwigsburg

**写真**

これに関するレイアウトについてグラフィック素材をご提供くださった企業すべてに対し、お礼を申し上げます。

**複製及び印刷**

Druckerei Brett, Besigheim